

DCダイワ・ターゲットイヤー2020

安定運用移行後のご案内

2023年9月7日

平素は、確定拠出年金の運用商品であります「DCダイワ・ターゲットイヤー2020」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、2020年の決算日（12月18日）以降、わが国の短期債券および短期金融資産への投資に移行しリスクを抑えた運用を行っております。今後もわが国の短期金利は極めて低位での推移となる見通しであることと運用管理費用（信託報酬）を考慮しますと、当ファンドの基準価額は緩やかに下落することが想定されるため、当ファンドへの継続的な投資にはご注意くださいようお願い申し上げます。

当ファンドの状況

基準日：2023年8月31日

■ 基準価額、純資産総額

| | |
|-------|----------|
| 基準価額 | 13,808 円 |
| 純資産総額 | 94 百万円 |

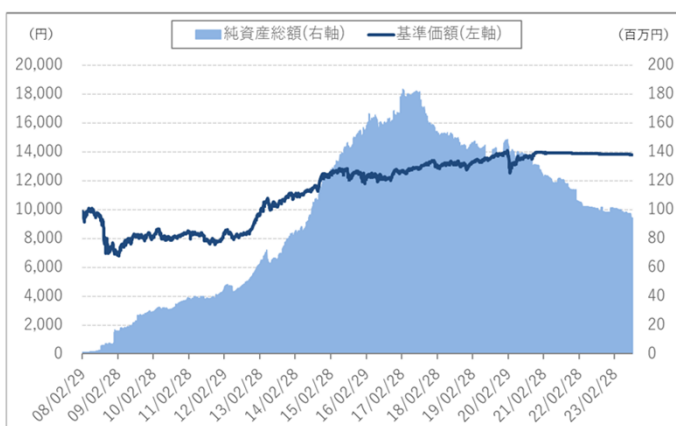
* 既出分配金累計：0 円

■ 資産構成

| | 基本配分 比率 | ファンド |
|--------|------------|---------|
| 短期国内債券 | 100.00% | 99.81% |
| 短期金融資産 | 0.00% | 0.19% |
| 合計 | 100.00% | 100.00% |

* 比率は純資産総額対比です。

■ 基準価額の推移



* 基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除してあります（後述のファンドの費用をご覧ください）。

* 過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■ ファンドの収益率

| | 1ヶ月間 | 3ヶ月間 | 1年間 | 3年間 | 5年間 | 10年間 | 設定来 |
|---------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| ファンド収益率 | -0.09% | -0.23% | -0.45% | 0.29% | 0.87% | 3.08% | 2.20% |

* 収益率は月次収益率より算出。設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。

* 収益率は期間が1年以上の場合は年率換算しております。期間が1年未満の場合は年率換算していません。

■ 前月のパフォーマンス分析

前月につきましては、ダィワ短期日本債券 INDEX マザーファンド¹ 受益証券の値動きは▲0.07%となり、当ファンドの基準価額は0.09%のマイナスとなりました。

ダイワ短期日本債券インデックスマザーファンドについて

- 今後の運用方針

ベンチマーク（NOMURA-BPI総合短期指数）との高い連動性を維持するように運用を行います。残存年限別構成やデュレーションなどを管理するとともに、ファンドの資金流入や毎月末に行われるベンチマークのユニバース変化に対しては、売買コストに配慮しつつ、ポートフォリオのリバランスを行います。なお、ベンチマークに含まれる債券のうち、格付けの低い銘柄については、信用リスク管理や流動性確保の観点から投資を見送ることもあります。

（ご参考）わが国の短期債利回り

| | |
|-----------|-------|
| 国債 2 年利回り | 0.03% |
|-----------|-------|

（出所）Refinitiv

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

内外の株式、債券、リート（REIT）および短期金融資産に投資し、中長期的に安定した信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 内外の株式、債券、リートおよび短期金融資産に投資し、長期的にリスクを減少させていく運用を行ないます。
●当初設定時の基本配分比率を参考にポートフォリオを構築し、2020年に近づくにしたがって株式等の組入れを漸減させ、債券の組入れを漸増させることなどにより、長期的にリスクを減少させていく運用を行ないます。
2. 2020年の決算日以降は、わが国の短期債券および短期金融資産に投資し、リスクを抑えた運用をめざします。
●わが国の短期債券への投資にあたっては、ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合短期指数）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行ないます。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
4. 当ファンドは、確定拠出年金制度を利用する場合、またはこれに類する前払退職金等の積立てを目的とした定時定額購入等により購入の申込みを行なう場合に限り購入できます。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

NOMURA-BPI 総合短期指数とは

NOMURA-BPIは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している、日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表わすために開発された投資収益指数であり、一定の組入基準に基づいて構成されたポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。

NOMURA-BPI総合には、債券の残存期間別に短期・中期・長期などのサブ・インデックスがあり、NOMURA-BPI総合短期(NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス総合短期)は、残存期間1年以上3年未満の短期の公募利付債市場全体の動向を表わす投資収益指数で、一定の銘柄採用基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。

NOMURA-BPIの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等ならびに当ファンドおよび同指数に関連して行なわれる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

■ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動・公社債の価格変動・リートの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | | |
|---------------------|-----------------------------------|---|-----------------------|
| | 料率等 | 費用の内容 | |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。 | — | |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — | |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | | |
| | 料率等 | 費用の内容 | |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 下表参照 | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して下記の率を乗じて得た額とします。 | |
| | 第1計算期間から 2016年3月11日 まで | 2016年3月12日か ら第13計算期間まで | 第14計算期間以降 |
| | 年率0.715% (税抜0.65%) | 年率0.308% (税抜0.28%) | 年率0.242% (税抜0.22%) |
| その他の費用・手数料 | (注) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 | |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

大和証券

Daiwa Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。え、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。